



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 神東塗料株式会社

コード番号 4615 URL <http://www.shintopaint.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉村 隆平

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役(経理担当) (氏名) 波多野 健

TEL 06-6429-8474

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	5,561	△0.7	194	△33.6	240	△26.6	106	△42.7
25年3月期第1四半期	5,598	15.1	292	104.6	327	82.3	186	98.9

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 220百万円 (△4.5%) 25年3月期第1四半期 230百万円 (121.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	3.45	—
25年3月期第1四半期	6.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	34,866	14,382	40.1	450.82
25年3月期	34,847	14,368	40.0	450.29

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 13,968百万円 25年3月期 13,952百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,500	△0.9	400	△37.9	500	△32.3	270	△37.9	8.71
通期	23,400	0.1	1,000	△21.7	1,200	△21.0	680	△17.7	21.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) 神之東塗料貿易(上海)有限公司、除外 1社 (社名)
PT. Shinto Paint Indonesia

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	31,000,000 株	25年3月期	31,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	14,633 株	25年3月期	14,583 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	30,985,367 株	25年3月期1Q	30,986,347 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューが手続き中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導による大胆な金融緩和政策や財政出動の効果に対する期待感から、それまで続いた円高基調が是正され、株価も上向くなど景気回復への期待感が高まりました。しかしながら、欧州債務問題の長期化や中国はじめ新興国経済の減速等の影響を受け、企業を取り巻く経営環境は依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。当社グループにおきましてはこうした経済状況の中で新製品の開発による積極的な販売活動及びアジア市場での海外事業の展開とともに、コスト競争力の一層の向上を目指して取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,561百万円（前年同四半期比0.7%減）となりました。損益面では、営業利益は194百万円（前年同四半期比33.6%減）、経常利益は240百万円（前年同四半期比26.6%減）、四半期純利益は106百万円（前年同四半期比42.7%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(塗料事業)

アルミ電着塗料は、サッシ市場が堅調に推移しており、震災復興需要により東日本地域での各種建材メーカーをはじめ、各ハウスメーカーは増産体制に入っているものの、一部の主力ユーザーでの生産調整や新規獲得ラインの納期の延期などが影響し、売上は減少いたしました。

工業用電着塗料は自動車、電気機械、プレハブ住宅及び鋼製家具向けなどが堅調に推移しており、家電ユーザーでの塗装仕様変更によるライン閉鎖があったものの、新規獲得ラインが順調に推移したこともあり、売上はほぼ前年並みとなりました。

粉体塗料は鋼製家具、自動車、建材向け等、全体的に堅調に推移しており、なかでも配電盤や電気機械関連ユーザーは太陽光発電及び非常用発電システム等の需要が旺盛で堅調に推移したこともあり、売上は増加いたしました。

工業用塗料は、建材関連と形鋼製品向けが順調に推移し、出荷量が増加いたしました。しかしながら主力の工作機械及び建設機械向けユーザーの生産調整による減産が昨年後半から続いており、売上は減少いたしました。

建築塗料は、復興需要に期待があるものの、工事着工の遅れなどから出荷量が伸びず売上は減少いたしました。

防食塗料はインフラ強化策などの影響から今年度発注見通しにもやや回復の傾向が見られるものの、当第1四半期は出荷を予定した大型工事の工期遅れから出荷量が伸びず、売上は減少いたしました。

道路施設用塗料は主力のカラー舗装材、すべり止め材及び段差修正材が堅調に推移し、また区画線についても溶融材が堅調に推移いたしました。とくに国の安全交通基本5カ年計画の主要テーマである高齢者－子供、歩行者－自転車、生活道路－幹線道路の3つの安全確保に合致したすべり止めタイプのカラー舗装材の需要の増加により出荷量が増え、売上は増加いたしました。

軌道材料製品については、道床安定剤が主力ユーザー向けに順調に伸び、スラブ補修材及び可変

パッドにつきましても主力ユーザー向けに堅調に推移した結果、売上は増加いたしました。
自動車用塗料分野では主力ユーザーの生産量の増加により出荷量が増え、さらにはインドネシア向けを中心に主力ユーザーの海外向けの出荷が好調に推移し、売上は増加いたしました。
この結果、塗料事業の売上高は5,149百万円、セグメント利益は248百万円となりました。

(化成品事業)

受託生産している、化成品事業の売上高は412百万円、セグメント損失は8百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が78百万円、たな卸資産が172百万円、有形固定資産が42百万円増加し、受取手形及び売掛金が288百万円減少したこと等により34,866百万円（前連結会計年度末比19百万円増）となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、支払手形及び買掛金が146百万円、短期借入金が135百万円増加し、設備関係支払手形が121百万円、賞与引当金が110百万円及び長期借入金が49百万円減少したこと等により20,484百万円（前連結会計年度末比5百万円増）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、為替換算調整勘定が70百万円、その他有価証券評価差額金が24百万円増加し、利益剰余金が77百万円減少したこと等により14,382百万円（前連結会計年度末比14百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期(平成25年4月1日～平成26年3月31日)の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間より、非連結子会社でありました神之東塗料貿易（上海）有限公司及びPT. Shinto Paint Indonesiaは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,428	1,507
受取手形及び売掛金	8,284	7,995
商品及び製品	1,885	2,034
原材料及び貯蔵品	617	640
その他	297	303
貸倒引当金	△37	△20
流動資産合計	12,475	12,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,419	2,410
機械装置及び運搬具(純額)	846	859
土地	16,247	16,247
その他(純額)	225	264
有形固定資産合計	19,739	19,782
無形固定資産	385	371
投資その他の資産		
投資有価証券	1,564	1,636
その他	711	661
貸倒引当金	△29	△45
投資その他の資産合計	2,246	2,252
固定資産合計	22,371	22,406
資産合計	34,847	34,866
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,255	7,402
短期借入金	3,397	3,533
未払法人税等	164	99
賞与引当金	215	104
役員賞与引当金	15	3
その他	1,037	992
流動負債合計	12,086	12,135
固定負債		
長期借入金	1,985	1,935
再評価に係る繰延税金負債	4,557	4,557
退職給付引当金	1,187	1,204
役員退職慰労引当金	8	8
その他	653	642
固定負債合計	8,391	8,348
負債合計	20,478	20,484

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255	2,255
資本剰余金	585	585
利益剰余金	3,854	3,776
自己株式	△2	△2
株主資本合計	6,692	6,614
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	48
土地再評価差額金	7,282	7,282
為替換算調整勘定	△47	22
その他の包括利益累計額合計	7,259	7,354
少数株主持分	415	413
純資産合計	14,368	14,382
負債純資産合計	34,847	34,866

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	5,598	5,561
売上原価	4,345	4,387
売上総利益	1,253	1,174
販売費及び一般管理費		
発送費	141	149
広告宣伝費及び販売促進費	24	30
従業員給料及び手当	251	257
賞与引当金繰入額	43	45
退職給付費用	36	30
減価償却費	37	37
試験研究費	41	48
その他	384	381
販売費及び一般管理費合計	961	980
営業利益	292	194
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8	8
受取賃貸料	7	5
持分法による投資利益	38	44
その他	1	7
営業外収益合計	56	66
営業外費用		
支払利息	7	6
投資有価証券評価損	8	0
支払補償費	2	10
その他	2	3
営業外費用合計	21	20
経常利益	327	240
特別損失		
固定資産除却損	1	1
特別損失合計	1	1
税金等調整前四半期純利益	325	238
法人税等	124	112
少数株主損益調整前四半期純利益	201	126
少数株主利益	14	19
四半期純利益	186	106
少数株主利益	14	19
少数株主損益調整前四半期純利益	201	126
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	24
為替換算調整勘定	—	16
持分法適用会社に対する持分相当額	34	53
その他の包括利益合計	29	94
四半期包括利益	230	220
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215	196
少数株主に係る四半期包括利益	14	23

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	5,112	486	5,598	5,598
セグメント利益	313	13	327	327

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	327
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	327

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	5,149	412	5,561	5,561
セグメント利益又は損失(△)	248	△8	240	240

- 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利 益	金 額
報告セグメント計	240
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	240

- 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。